



2021年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 岡田 一男 TEL 03 - 3345 - 6111
 定時株主総会開催予定日 2021年9月28日 有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	18,355	28.6	2,030		3,087		4,089	
2020年6月期	25,702	28.3	2,025		4,268		4,836	

(注) 包括利益 2021年6月期 4,072百万円 (%) 2020年6月期 4,841百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	191.69		107.2	7.8	11.1
2020年6月期	356.36		69.9	8.6	7.9

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 百万円 2020年6月期 19百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	33,002	3,278	9.9	115.83
2020年6月期	46,303	4,404	9.4	319.92

(参考) 自己資本 2021年6月期 3,278百万円 2020年6月期 4,351百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	2,870	820	6,682	958
2020年6月期	2,138	844	3,090	3,909

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		0.00		0.00	0.00			
2021年6月期		0.00		0.00	0.00			
2022年6月期(予想)								

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社グローバル投資顧問、除外 1 社 (社名) 株式会社グローバル・ホテルマネジメント

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期	28,306,000 株	2020年6月期	13,601,000 株
期末自己株式数	2021年6月期	76 株	2020年6月期	76 株
期中平均株式数	2021年6月期	21,336,156 株	2020年6月期	13,573,235 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

「3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)」に掲げた理由から業績予想につきましては記載しておりません。なお、詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲)	13
(追加情報)	13
(リース取引関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の概況

当連結会計年度（2020年7月1日～2021年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未だ経済・社会活動の抑制を余儀なくされ、度重なる緊急事態宣言発令を背景に個人消費も低水準で一進一退を繰り返す等、厳しい状況が継続しております。一方で、世界的にワクチン接種が始まり、経済活動は徐々に正常化に向け動き出すことが期待されるものの、国内においては感染者数が上昇し予断を許さない状況であります。

当社が手掛けるホテル業界におきましては、2020年4月以降訪日外客数は依然として2019年の同月比99%以上減少と低迷が続いております。（日本政府観光局（JNTO）資料参照）。国内市場におきましても、一時的に政府の観光支援施策等により回復傾向が期待された時期もありましたが、全国的な行動規制は現在も継続しております。観光地として、国内人気に加え訪日外国人からの人気も高い当社主力の京都エリアにおいて、その影響は大きく厳しい状況であります。

このような状況下当社グループでは、京都においてホテル3棟の引渡しを行いました。また、開発中ホテルの売却活動、経費削減施策の実施、新型コロナウイルス感染症収束後の運営及びブランド戦略活動に努めました。運営においては、政府の観光支援施策等で回復が期待された時期もありましたが、繰り返される新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響により、継続的に一部のホテルを除いた休業を余儀なくされております。

不動産業界におきましては、首都圏の分譲マンション市場は、2020年最初の緊急事態宣言で供給が大きく落ち込みましたが、下期より徐々に回復傾向となり、2021年上期の供給戸数はコロナ禍前と同水準まで回復しました。また、価格は多少の下振れはあったものの高水準を推移、初月契約率は72.5%と好調に推移しております（不動産経済研究所資料参照）。投資用マンション市場は、賃貸需要を支える若い層の安定的な首都圏への転入超過に加え、ファンド及びリート、個人投資家などの需要は旺盛、価格帯のバリエーション等により年金対策や相続など様々なニーズに応えられる市場となっており継続的に堅調に推移しております。

当社グループでは、分譲マンションの新規開発及び販売、引渡しを進めるとともに、都内主要エリア及び都心近郊の実需分譲マンション、投資用マンション用地の仕入れ活動を強化しております。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は18,355百万円（前期比28.6%減）、営業損失2,030百万円（前年同期は営業損失2,025百万円）、経常損失3,087百万円（前年同期は経常損失4,268百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失4,089百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失4,836百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ日本橋浜町公園」、「ウィルローズ鳩ヶ谷エディオ」、「ウィルレーナ目白」等合計81戸及び収益物件7物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7,830百万円（前期比16.9%減）、営業利益1,152百万円（同41.1%増）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、「六角高倉プロジェクト」、「高辻東洞院プロジェクト」等、合計3物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高5,577百万円（前期比14.7%減）、営業損失2,494百万円（前年同期は営業損失1,960百万円）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「新宿区中井プロジェクト」、「東小岩アパートプロジェクト」等、分譲53戸及び収益物件9物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高3,630百万円（前期比58.3%減）、営業損失102百万円（前年同期は営業利益119百万円）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部51物件132戸、東京都下5物件80戸、神奈川県8物件70戸、埼玉県2物件20戸、千葉県3物件4戸、長野県1物件45戸、合計70物件351戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高636百万円（前期比11.4%減）、営業利益185百万円（同24.7%減）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、2021年6月30日現在のマンション管理戸数が3,698戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高452百万円（前期比3.7%増）、営業利益44百万円（同11.4%増）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントの売上高は390百万円（前期比70.1%増）、営業利益は52百万円（前年同期は営業損失69百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は33,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,301百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少3,462百万円、仕掛販売用不動産の減少11,952百万円、販売用不動産の増加5,522百万円、貸倒引当金の増加3,017百万円によるものであります。

負債は29,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,175百万円減少いたしました。これは主に有利子負債の減少9,494百万円によるものであります。

純資産は3,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,125百万円減少いたしました。これは主に資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,499百万円増加、親会社株主に帰属する当期純損失により利益剰余金が4,089百万円減少したことによるものであります。

これにより、自己資本比率は9.9%（前期は9.4%）、1株当たり純資産額は115.83円（前期は319.92円）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて2,950百万円減少し、958百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失4,019百万円、たな卸資産の減少額7,830百万円、仕入債務の減少額2,093百万円を主要因として、2,870百万円の収入(前期は2,138百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入609百万円、定期預金の預入による支出233百万円、投資有価証券の売却による収入203百万円を主要因として、820百万円の収入(前期は844百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入15,973百万円、長期借入金の返済による支出19,940百万円、短期借入金の純減少額5,429百万円、株式の発行による収入2,999百万円を主要因として、6,682百万円の支出(前期は3,090百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関係指標の推移

	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率 (%)	9.4	9.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	6.5	20.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	9.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	6.2

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

- (注1) いずれも連結ベースの財務数値により記載しております。
- (注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。
- (注3) キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
- (注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
- (注5) 2020年6月期及び2021年6月期の時価ベースの自己資本比率につきましては、最終株式取引日である2020年6月30日及び2021年6月30日の終値より算出しております。
- (注6) 2020年6月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)、インタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2022年6月期の連結業績につきましては、未だ収束の見えないコロナ禍において、現時点では、業績に影響を与えらると思われる未確定な要素が多く、合理的な算定が困難であるため、未定とさせていただきます。

今後、業績への影響を慎重に見極め、連結業績予想の算定が可能となりました時点において速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題としており、業績に応じた利益還元を積極的に行うことを基本方針としながら、将来の事業展開と財務体質強化のための内部留保の充実等を勘案のうえ、総合的に決定する方針であります。

当社の剰余金の配当は、年一回の期末配当を基本方針としており、配当の決定機関は株主総会ですが、会社法第454条第5項に基づき「取締役会の決議によって、毎年12月31日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

当期につきましては、財務体質の強化が最重要課題であると認識しており、無配当とさせていただきます。

また、次期の配当につきましては、現時点において未定とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を重視し、当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適時適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,491,080	1,028,234
売掛金	36,224	57,336
販売用不動産	15,194,426	20,716,831
仕掛販売用不動産	21,021,738	9,068,988
前払費用	617,804	384,365
その他	801,039	596,341
流動資産合計	42,162,314	31,852,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	984,544	193,575
減価償却累計額	△210,532	△146,472
建物及び構築物 (純額)	774,011	47,103
その他	129,637	105,811
減価償却累計額	△108,448	△101,852
その他 (純額)	21,188	3,959
土地	744,004	—
有形固定資産合計	1,539,203	51,062
無形固定資産	26,691	13,987
投資その他の資産		
投資有価証券	453,720	364,445
破産更生債権等	218,749	2,920,499
長期貸付金	1,554,438	1,484,017
繰延税金資産	251	374
その他	1,715,766	701,256
貸倒引当金	△1,367,244	△4,384,956
投資その他の資産合計	2,575,681	1,085,637
固定資産合計	4,141,576	1,150,686
資産合計	46,303,891	33,002,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,389,154	287,234
短期借入金	7,920,813	2,492,248
1年内返済予定の長期借入金	13,273,704	4,366,885
1年内償還予定の社債	255,000	100,000
未払金	290,156	201,706
未払法人税等	224,971	16,588
未払消費税等	80,728	31,831
前受金	482,055	509,800
賞与引当金	7,753	9,866
その他	385,293	252,725
流動負債合計	25,309,630	8,268,885
固定負債		
社債	1,840,000	1,740,000
長期借入金	13,985,259	19,125,160
繰延税金負債	369,481	93,213
事業損失引当金	72,759	319,179
その他	322,578	177,614
固定負債合計	16,590,077	21,455,168
負債合計	41,899,708	29,724,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,466	1,924,376
資本剰余金	1,370,695	2,870,605
利益剰余金	2,526,322	△1,563,515
自己株式	△33	△33
株主資本合計	4,321,451	3,231,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,725	79,770
為替換算調整勘定	2,001	△32,472
その他の包括利益累計額合計	29,727	47,298
新株予約権	53,004	—
純資産合計	4,404,183	3,278,730
負債純資産合計	46,303,891	33,002,784

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	25,702,085	18,355,537
売上原価	21,608,416	16,286,784
売上総利益	4,093,668	2,068,753
販売費及び一般管理費	6,119,363	4,098,754
営業損失(△)	△2,025,694	△2,030,001
営業外収益		
受取利息	20,671	15,597
受取手数料	10,622	8,142
解約精算金	9,600	22,604
為替差益	—	70,239
受取地代家賃	7,258	13,839
受取保険金	19,462	—
貸倒引当金戻入額	—	59,188
雇用調整助成金	—	96,977
その他	16,427	38,146
営業外収益合計	84,044	324,735
営業外費用		
支払利息	611,163	436,824
支払手数料	143,866	214,165
為替差損	79,663	—
貸倒引当金繰入額	1,097,792	402,041
持分法による投資損失	19,923	—
事業損失引当金繰入額	72,759	246,419
解約違約金	270,000	—
その他	32,129	82,483
営業外費用合計	2,327,299	1,381,935
経常損失(△)	△4,268,949	△3,087,201
特別利益		
投資有価証券売却益	27,968	44,541
関係会社株式売却益	—	10
新株予約権戻入益	—	53,004
特別利益合計	27,968	97,555
特別損失		
減損損失	494,957	23,179
事業構造改善費用	—	807,343
固定資産除売却損	32,608	4,802
出資金評価損	—	192,000
その他	—	2,500
特別損失合計	527,565	1,029,825
税金等調整前当期純損失(△)	△4,768,546	△4,019,470
法人税、住民税及び事業税	△14,148	364,884
法人税等調整額	82,520	△294,516
法人税等合計	68,371	70,367
当期純損失(△)	△4,836,917	△4,089,838
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,836,917	△4,089,838

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純損失(△)	△4,836,917	△4,089,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,666	52,044
為替換算調整勘定	362	△34,473
その他の包括利益合計	△4,303	17,570
包括利益	△4,841,221	△4,072,267
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△4,841,221	△4,072,267
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	404,731	1,350,960	7,705,510	△33	9,461,168
当期変動額					
新株の発行	19,734	19,734			39,469
剰余金の配当			△337,963		△337,963
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△4,836,917		△4,836,917
連結範囲の変動			△4,306		△4,306
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	19,734	19,734	△5,179,187	—	△5,139,717
当期末残高	424,466	1,370,695	2,526,322	△33	4,321,451

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32,392	1,638	34,030	67,015	9,562,215
当期変動額					
新株の発行					39,469
剰余金の配当					△337,963
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△4,836,917
連結範囲の変動					△4,306
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,666	362	△4,303	△14,010	△18,314
当期変動額合計	△4,666	362	△4,303	△14,010	△5,158,031
当期末残高	27,725	2,001	29,727	53,004	4,404,183

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	424,466	1,370,695	2,526,322	△33	4,321,451
当期変動額					
新株の発行	1,499,910	1,499,910			2,999,820
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△4,089,838		△4,089,838
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	1,499,910	1,499,910	△4,089,838	—	△1,090,018
当期末残高	1,924,376	2,870,605	△1,563,515	△33	3,231,432

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27,725	2,001	29,727	53,004	4,404,183
当期変動額					
新株の発行					2,999,820
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△4,089,838
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	52,044	△34,473	17,570	△53,004	△35,434
当期変動額合計	52,044	△34,473	17,570	△53,004	△1,125,452
当期末残高	79,770	△32,472	47,298	—	3,278,730

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△4,768,546	△4,019,470
減価償却費	144,663	104,479
事業構造改善費用	—	807,343
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,095,892	340,453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,232	3,463
受取利息	△21,664	△15,597
支払利息	611,163	436,824
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	72,759	246,419
新株予約権戻入益	△332	△53,004
為替差損益 (△は益)	78,193	△70,239
雇用調整助成金	—	△96,977
出資金評価損	—	192,000
持分法による投資損益 (△は益)	19,923	—
減損損失	494,957	23,179
固定資産除売却損益 (△は益)	32,608	4,802
投資有価証券売却損益 (△は益)	△27,968	△44,541
売上債権の増減額 (△は増加)	768,848	△53,743
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△940,662	7,830,649
前払費用の増減額 (△は増加)	△76,017	157,639
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△15,828	4,403
未収消費税等の増減額 (△は増加)	67,748	△119,314
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,433,043	△2,093,561
未払金の増減額 (△は減少)	△38,874	△57,358
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,191	△48,896
未払費用の増減額 (△は減少)	△34,900	10,256
前受金の増減額 (△は減少)	△231,415	28,821
預り金の増減額 (△は減少)	△212,611	△15,424
その他	487,248	313,849
小計	△1,074,195	3,816,455
利息及び配当金の受取額	9,037	12,954
利息の支払額	△563,157	△462,796
雇用調整助成金の受取額	—	96,977
違約金の支払額	—	△157,746
法人税等の還付額	49,667	242,129
法人税等の支払額	△559,383	△677,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,138,030	2,870,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	56,834	609,858
定期預金の預入による支出	△171,140	△233,400
担保預金の払戻による収入	—	133,843
担保預金の預入による支出	△133,843	—
会員権の売却による収入	—	22,500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△117,490	△50,314
出資金の回収による収入	—	188,599
資産除去債務の履行による支出	△37,594	—
貸付金の回収による収入	20,820	94,390
貸付けによる支出	△460,282	—
差入保証金の回収による収入	82,869	130,606
差入保証金の差入による支出	△235,249	△192,754
保険積立金の積立による支出	△3,855	△3,855
投資有価証券の売却による収入	154,700	203,985
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△82,968
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844,233	820,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,096,835	△5,429,445
長期借入れによる収入	13,437,400	15,973,934
長期借入金の返済による支出	△17,448,979	△19,940,290
社債の発行による収入	1,671,411	—
社債の償還による支出	△1,522,000	△255,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	25,127	—
株式の発行による収入	—	2,999,820
リース債務の返済による支出	△12,314	△31,103
配当金の支払額	△337,616	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,090,135	△6,682,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,494	40,982
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,082,894	△2,950,695
現金及び現金同等物の期首残高	9,986,952	3,909,230
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減 額 (△は減少)	5,172	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,909,230	958,534

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当連結会計年度において、新たに設立しました株式会社グローバル・ホテルパートナーズを連結子会社の範囲に含めております。また、株式譲渡により株式会社グローバル・ホテルマネジメントを連結子会社の範囲から除外しております。前連結会計年度まで持分法関連適用会社でありました株式会社イタルグルメは、保有株式売却に伴い、持分法適用範囲から除外しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行)

2020年3月31日に公布された「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)により、2022年4月1日以後開始する連結会計年度から、連結納税制度はグループ通算制度に移行することとされましたが、連結納税制度を適用している当社及び一部の国内連結子会社は、当連結会計年度においては、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)に基づき、改正前の税法の規定を前提とした会計処理を行っております。

(リース取引関係)

1. ファイナンス・リース取引

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(借手側)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
1年内	1,457,449	305,474
1年超	14,250,844	2,506,815
合計	15,708,294	2,812,290

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、純粋持株会社としてグループ本社を置き、各事業会社は、それぞれが取扱う商品・サービスに関する戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「マンション事業」（主に株式会社グローバル・エルシード）、「ホテル事業」（主に株式会社グローバル・エルシード、株式会社グローバル・ホテルパートナーズ）、「戸建事業」（主に株式会社グローバル・キャスト）、「販売代理事業」（株式会社グローバル住販）及び「建物管理事業」（株式会社グローバル・ハート）の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	マンション 事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	9,425,855	6,539,948	8,707,452	363,344	436,161	25,472,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	355,227	—	355,227
計	9,425,855	6,539,948	8,707,452	718,572	436,161	25,827,989
セグメント利益又は損失(△)	816,605	△1,960,250	119,512	246,364	40,137	△737,630
セグメント資産	13,250,984	24,900,442	5,911,334	545,129	361,717	44,969,608
セグメント負債	11,595,107	23,165,448	5,475,589	357,066	43,636	40,636,848
その他の項目						
減価償却費	12,879	55,787	19,270	1,051	786	89,776
減損損失	—	494,957	—	—	—	494,957
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	—	28,669	250	—	—	28,919

	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高			
外部顧客への売上高	229,323	—	25,702,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	△355,227	—
計	229,323	△355,227	25,702,085
セグメント利益又は損失(△)	△69,393	△1,218,670	△2,025,694
セグメント資産	1,765,144	△430,861	46,303,891
セグメント負債	2,038,432	△775,572	41,899,708
その他の項目			
減価償却費	35,412	19,474	144,663
減損損失	—	—	494,957
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	41,432	12,441	82,793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおり
ます。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,218,670千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,212,670千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額△430,861千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産9,879,558千円及びセグメント間取引消去△10,310,420千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
- (3) セグメント負債の調整額△775,572千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債8,827,114千円及びセグメント間取引消去△9,602,686千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,830,183	5,577,085	3,630,221	475,706	452,315	17,965,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	160,650	—	160,650
計	7,830,183	5,577,085	3,630,221	636,357	452,315	18,126,162
セグメント利益又は損失 (△)	1,152,619	△2,494,895	△102,529	185,547	44,699	△1,214,557
セグメント資産	10,947,673	19,128,738	2,545,971	359,866	397,573	33,379,823
セグメント負債	8,212,511	18,188,305	2,243,378	212,153	62,256	28,918,605
その他の項目						
減価償却費	31,466	7,356	16,839	1,696	698	58,057
減損損失	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	—	480	434	7,590	—	8,504

	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
売上高			
外部顧客への売上高	390,025	—	18,355,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	△160,650	—
計	390,025	△160,650	18,355,537
セグメント利益又は損失 (△)	52,469	△867,912	△2,030,001
セグメント資産	199,788	△576,827	33,002,784
セグメント負債	1,591,998	△786,549	29,724,053
その他の項目			
減価償却費	36,378	10,043	104,479
減損損失	23,179	—	23,179
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	20,736	1,816	31,057

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおり
ます。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△867,912千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△861,912千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額△576,827千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産6,020,681千円及びセグメント間取引消去△6,597,509千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する貸付金等であります。
- (3) セグメント負債の調整額△786,549千円には、各報告セグメントに配分していない全社負債4,762,986千円及びセグメント間取引消去△5,549,536千円が含まれております。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社が保有する借入金等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)		当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	
1株当たり純資産額	319円92銭	1株当たり純資産額	115円83銭
1株当たり当期純損失(△)	△356円36銭	1株当たり当期純損失(△)	△191円69銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年6月30日)	当連結会計年度末 (2021年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	4,404,183	3,278,730
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	53,004	—
(うち新株予約権)	(53,004)	(—)
普通株式に係る期末純資産額(千円)	4,351,178	3,278,730
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	13,600,924	28,305,924

(注) 2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△4,836,917	△4,089,838
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△4,836,917	△4,089,838
普通株式の期中平均株式数(株)	13,573,235	21,336,156
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。